

令和7年度 事業報告書

特定非営利活動法人さわやか青少年センター

1 事業の成果

当年度事業環境は、教員の働き方改革やＩＣＴ活用の取り組みが更に進められ、生成ＡＩの活用なども推進されるなど、昨年度に引き続きボランティア体験学習の普及推進には厳しい状況であった。

そのような中で、ボランティア体験学習推進事業では、FVP事業の参加校団体数は昨年度より1団体減少に留まり、参加児童生徒数は昨年度よりわずかながら増加、感想文募集の応募作品数は昨年度の3倍に増加した。また、親子で“ちょいボラ”学習会では他団体との連携で活動の幅を広げて周知を図ることができた。

ボランティア体験学習情報事業では、FVPを活用したボランティア体験学習の調査・分析の対象とした2019年度とコロナ化を経ての変化を見るために2023年度のFVP感想欄の分析を進めた。また、当事業に関わる神崎市での取組を日本ボランティア学習学会において報告し、FVPを活用したボランティア体験学習の効果を更に広めることができた。また、昨年度同様、活動の目的が同じ方向の公益財団等に対して、事業紹介や支援協力の働きかけを行った。

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用額【 1,891 】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)	
遊びやボランティア活動、体験学習等を通じた青少年健全育成事業	1. ボランティア体験学習推進事業 (1) ふれあいボランティアパスポート（FVP）事業 ①FVP参加校・団体の募集 ・参加校・団体数：63校、6団体、参加児童生徒数20,570人 ・ふれあいボランティア体験学習推進学校・団体賞(3月) 小学校12校、1団体に表彰状を贈呈。(感想欄回収率90%以上) ②ふれあいボランティア活動感想文募集 ・参加：小学校4校1団体、中学校2校、高等学校3校（応募228人） ・表彰：大賞1人、小学生賞7人、中学生賞4人、高校生賞4人 受賞者に表彰状・缶バッジ・感想文集贈呈、応募者全員ふれあいシールを提供 ・感想文集作成：1,000冊。FVP参加校・団体等に配付 ③親子で“ちょいボラ”学習会 ・開催1回：文教大学付属幼稚園（品川区） 参加者：保護者、園長他13人参加 ・「秋のキッズフェスタ」（独）国立青少年教育振興機構主催）にて 「親子でちょいボラ学習会」を2日間にわたり開催 親子等36組72人が参加	4月～3月 3月 10月～3月	当法人事業所 同上	2人 1人 6人	・FVP参加校、団体の教師、児童生徒 ・FVP参加校・団体 ・FVP参加校・団体の教師、児童生徒、保護者	25,000人 1,000人 25,000人	1,312	
	・開催1回：文教大学付属幼稚園（品川区） 参加者：保護者、園長他13人参加 ・「秋のキッズフェスタ」（独）国立青少年教育振興機構主催）にて 「親子でちょいボラ学習会」を2日間にわたり開催 親子等36組72人が参加	1月28日 10月25日、26日	文教幼稚園 国立柳井記念青少年総合センター	2人 3人	幼稚園児の保護者 キッズフェスタ参加の親子他	100人 100人		
	2. ボランティア体験学習情報事業 (1)スクールボランティアサミット（SVS）事業 ・SVSはボランティア教育環境の動静確認のため、一時休止とした。 ・ボランティア活動に関する情報交換会（東京都ボランティア教育研究会、東京都社会福祉協議会、行政、他団体）にて情報を提供 (2)少年地域ボランティアサークル活動普及事業(SVC) ・「ボランティア全国フォーラム2025」（広がれ「ボランティアの輪」連絡会議）参加し、情報を提供	8月6日 9月24日	東京都社会福祉協議会議室 全社協会議室	2人 1人	教育委員会・学校・社会教育団体等 ボランティア活動団体	100人 500人		210 140
	1.-(1)-④FVPを活用したボランティア体験学習についての調査・分析 ・FVP回収感想欄分析調査 対象：2019年度FVP参加小学校15校、中学校11校 合計7,400人 対象：2023年度FVP参加小学校3校、中学校3校 合計2,585人 2019年度、2023年度ともに「意識」、「ボランティア活動内容」、「リフレクション定着状況」の3調査のデータ入力、グラフ化まで終了	4月～3月	当法人事業所	3人	FVP参加学校・団体・ボランティア体験学習実施校	100,000人		90
広報事業	1.-(1)-⑤長期的な事業継続に向けて ・当年度のFVP参加校のボランティア体験学習の活動写真・情報をWebサイトに掲載・発信し、小中高等学校における活動の認知度を高める。 ・FVP参加全校に対して、感想欄回収デジタル化の情報を発信 ・「日本ボランティア学習学会第28回きょうと大会」に参加（2人） 自由研究発表の場で、「ボランティア体験学習にFVPを継続活用した効果について」の報告を行い、当法人活動の周知を図る。 ・「社会教育振興協議総会・学習会」にて、当法人活動の周知を図る。 ・社会教育・福祉教育関係団体3団体を訪問。当法人の活動を紹介	4月～3月 11月15日 2月16日 9/25、10/17 3/25	当法人事業所 仏教大学二条キャンパス 日本青年館各団体事務所	1人 2人 2人 2人	ボランティア体験学習・FVPに関心のある学校・団体、学校教育及び社会教育関係者	2,000人 100人 50人 100人	139	
		合計						
		1,891						

令和7年度 活動計算書（その他事業がない場合）

特定非営利活動法人さわか青少年センター

(単位：円)

科 目		金 額	小計・合計
【A】 経 常 収 益			
1 受取会費			335,000
正会員受取会費	98,000		
賛助会員受取会費	237,000		
2 受取寄附金			1,389,663
受取寄附金	1,389,663		
3 受取助成金等			100,000
受取助成金	100,000		
4 事業収益			58,800
事業収益	58,800		
5 その他の収益			689
受取利息	689		
経 常 収 益 計			1,884,152
【B】 経 常 費 用			
1 事業費			
(1) 人件費			0
(2) その他経費			1,891,663
売上 原価	8,724		
諸 謝 金	14,137		
印刷製本費	266,314		
会 議 費	0		
旅費交通費	47,292		
通信運搬費	153,913		
地代 家賃	937,200		
水道光熱費	43,369		
減価償却費	51,728		
消耗品 費	14,709		
保 険 料	11,500		
リース 料	7,920		
諸 会 費	63,000		
支払手数料	171,857		
支払寄付金	100,000		
事業費計			1,891,663
2 管理費			
(1) 人件費			0
(2) その他経費			45,482
印刷製本費	6,640		
旅費交通費	3,074		
通信運搬費	15,813		
租税 公課	1,200		
支払手数料	18,755		
管理費計			45,482
経 常 費 用 計			1,937,145
当期 経 常 増 減 額 【A】－【B】・・・①			-52,993
【C】 経 常 外 収 益			0
固定資産売却益			
過年度損益修正益			
経 常 外 収 益 計			0
【D】 経 常 外 費 用			0
固定資産売却損			
過年度損益修正損			
経 常 外 費 用 計			0
当期 経 常 外 増 減 額 【C】－【D】・・・②			0
税 引 前 当 期 正 味 財 産 増 減 額 ①+②・・・③			-52,993
法人税、住民税及び事業税			0
前期繰越正味財産額			1,478,988
次 期 繰 越 正 味 財 産 額 ③-④+⑤			1,425,995

令和7年度 貸借対照表

特定非営利活動法人さわやか青少年センター
(単位：円)

科	目	金額	小計・合計
【A】資産の部			
1	流動資産		
	現金預金	387,894	1,239,900
	青少年人間力育成事業用預金	200,761	
	棚卸資産	581,307	
	前払費用（サーバー・ドメイン維持費）	69,938	
	流動資産合計・・・①		1,239,900
2	固定資産		
	（1）有形固定資産		51,726
	什器備品	51,726	
	（2）無形固定資産		0
	（3）投資その他の資産		140,000
	敷金	140,000	
	固定資産合計・・・②		191,726
【A】資産合計 ①+②			1,431,626
【B-1】負債の部			
1	流動負債		
	未払金	5,631	5,631
	流動負債合計・・・③		5,631
2	固定負債		
	長期借入金	0	0
	固定負債合計・・・④		0
負債合計 ③+④			5,631
【B-2】正味財産の部			
	前期繰越正味財産額	1,478,988	
	当期正味財産増減額	△ 52,993	
正味財産合計			1,425,995
【B】負債及び正味財産合計 【B-1】+【B-2】			1,431,626